

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人科学技術振興機構施設整備に必要な経費		担当部局	文部科学省科学技術・学術政策局		作成責任者	板倉周一郎 池田 貴城	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	基盤政策課 産業連携・地域支援課				
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人科学技術振興機構法		関係する計画、 通知等	第4期科学技術基本計画 (平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	科学技術振興機構(JST)の設置する施設・設備の整備充実を図るために要する経費をJSTに対して補助することにより、もって科学技術の振興を図ることを目的とする。 ・最先端の環境科学技術に関する情報発信機能の強化 ・地域産学官共同研究拠点整備の推進 ・JST本部等の改修等							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	JSTに対して、以下の取組を実施するための施設・設備の整備充実に係る経費を補助する。 ・環境に関連した情報技術分野および技術革新分野に関し、全国の科学館へ巡回展示を行う展示パッケージを開発するとともに(地方科学館展示支援(環境関連巡回展示))、環境問題に関する地球規模の情報を発信し伝えることができる、日本科学未来館のシンボル展示であるジオ・コスモスを、より効果的に多くの情報発信ができる展示へと改修する(環境展示開発)。 ・自治体・大学・産業界からの提案を踏まえ、地域の強みを活かした産学官共同研究の実施や地域企業への成果の普及、中堅・中小企業の技術高度化の支援、高度技術者の養成等に取り組むための研究設備・装置を整備する。 ・JST本部、外国人研究者宿舍・日本科学未来館の施設・設備について老朽化等により性能を維持できなくなったものの改修等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算		0	98	142	136	
		繰越し等		27,650	0	0		
		計		▲ 27,571	27,327	244		
		執行額		0	25,269			
	執行率 (%)			0%	92.1%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	(独)科学技術振興機構の事業を実施するうえで必要な施設、設備を整備する		成果実績	1	機構の行う科学振興業務等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。平成22年度においては、JST本部、日本科学未来館等の整備を行った。		事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	施設整備・修繕を計画的に実施する		活動実績 (当初見込み)		2ページ目の補記欄を参照	計画通り着実に実施 () ()		
単位当たり コスト	- (円/ -)		算出根拠	※(独)科学技術振興機構の事業を実施するうえで必要な施設整備費補助金のため、単位当たりコストの算出は困難				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人科学技術振興機構施設整備費補助金	142百万円	136百万円	修繕計画上改修等に必要な額について、平成22年度実績及び平成23年度計画に基づき精査したことによる減。				
	計	142百万円	136百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約については、契約の性質又は目的が競争を許さない契約（建物所有者指定による修繕工事、官報）および少額随意契約のみである（国と同等の基準）。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえ、</p> <p>○引き続き競争性のない随意契約の見直しを行っていくと共に、一者応礼応募対策として①仕様書チェックリストによる点検②競争参加要件の緩和徹底③公告期間確保の周知徹底等を実施し、契約の競争性、公平性、透明性を確保した。</p> <p>○事業の整備内容を精査し効率化を一層進めた。</p> <p>○平成21年度予算の繰り越し分を事業目的に沿って速やかに執行した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、イノベーション創出の源泉となる知識の創出から研究成果の社会・国民への還元への推進等に取り組む科学技術振興機構の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものである。</p> <p>2. 所見：中期目標・中期計画に掲げられた計画に従って着実に措置すべきである。ただし、昨年他事業に対する公開プロセスでの指摘等を踏まえ、引き続き、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保するとともに、予算の硬直化を防ぐため、後年度負担も念頭に整備内容を精査することにより、事業の効率化を一層進めるべきである。また、今般の東日本大震災による被災状況を踏まえ、施設・設備の復旧状況にも留意すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
<p>経年劣化に対応した修繕等を行うため、計画に従って着実に措置する。</p> <p>また、契約の競争性・公平性・透明性を確保するため、引き続き競争参加条件等のより一層の見直しを図るとともに、他の研究機関と協力してベストプラクティスを抽出し、実行に移す。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>○平成21年度予算は、</p> <p>①新技術の導入による設計変更、契約変更等の手続きに不測の日数を要したため、予算額13.5億円のうち、契約差額を除く12.7億円を平成22年度に繰越し。</p> <p>②地域の特色を活かす事業とするため、公募に係る基本方針の策定に時間を要すると共に、地域に対する提案の修正依頼及び修正後の提案の審査を行うことにより、不測の日数を要したため、予算額263億円全額を平成22年度に繰越し。</p>			

※平成22年度実績を記入
 ※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

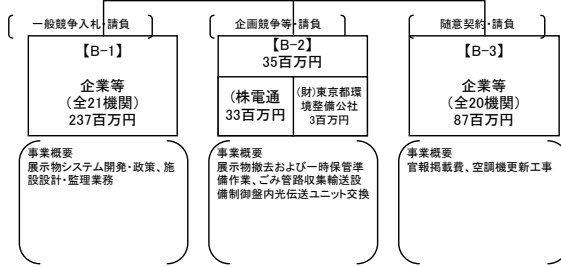
文部科学省
 25,269百万円

事業概要
 科学技術振興機構(JST)の設置する施設・設備の整備充実を図るために要する経費をJSTに対して補助することにより、科学技術の振興を図ることを目的とする。

※文部科学省の支出額とAの差額は、不用等によるものであり、不用分については国庫に返納する。

[交付]

【A】(独)科学技術振興機構
 25,189百万円
 (施設整備費)



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(独)科学技術振興機構			B-1.(株)インターネットイニシアティブ		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
直接費 (物品購入費)	研究機器等設備・備品費、研究資材費、システム等設備・備品費、資料購入等消耗品費 等	20,602	事業費	展示物開発	38
直接費(事業費)	展示装置、特殊設備工事、施設改修工事、旅費、諸謝金 等	4,229			
外部委託費 (請負費)	企業等に対する業務請負	359			
計		25,189	計		38
B-2.電通(株)			B-3.東京官書普及(株)		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
事業費	展示物撤去および一時保管準備作業	33	事業費	官報掲載費	49
計		33	計		49
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
計		0	計		0

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト
【B-1】一般競争入札・請負

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)インターネットイニシアティブ	ジオ・アーカイブ システム開発	38	4	—(※)
2	(株)岬建築事務所	(仮称)ぎふイノベーションセンター施設設計・監理業務	35	2	—(※)
3	(株)教育施設研究所	(仮称)ふくしま医療-産業リエゾン支援拠点施設設計業務	32	2	—(※)
4	(株)NTTファシリティーズ	鶴岡メタボロームクラスター産学官共同研究拠点施設設計・監理業務	26	2	—(※)
5	(株)土屋建築研究所	(仮称)千葉大学サイエンスパークセンター施設設計・監理業務	16	2	—(※)
6	(株)石本建築事務所	おかもやまメディカルイノベーションセンター(OMIC)施設設計・監理業務	15	2	—(※)
7	(株)双星設計	(仮称)次世代産業創出支援センター施設設計・監理業務	12	5	—(※)
8	コンストラクションインベストメントマネージャーズ(株)	環境・エネルギーマテリアル産業クラスター形成拠点施設設計業務等	11	複数案件	—
9	小野防水(株)	外国人研究者用宿舎「竹園ハウス」外壁防水補修工事	10	9	—(※)
10	共立管財(株)	プレート式熱交換器オーバーホール	9	2	—(※)

※落札率は、予定価格を類推させるおそれがあるため非公表

【B-2】企画競争等・請負

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	電通(株)	展示物撤去および一時保管準備作業	33	企画競争	—
2	(財)東京都環境整備公社	ごみ管路収集輸送設備制御盤内光伝送ユニット交換	3	企画競争	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

【B-3】随意契約・請負

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京官書普及(株)	入札公告、意見招請に関する公示、落札者等の公示	49	随意契約	—
2	野村ビルマネジメント(株)	川口センタービル計画修繕作業等 他	19	複数案件	—
3	(株)矢口建設	日本科学未来館展示フロア床補修 他	6	複数案件	—
4	太陽テクニカル(有)	外国人研究者用宿舎「二の宮ハウス」金属屋根補修工事	2	随意契約	—
5	共立管財(株)	プラインチラー・アンモニア漏洩検知器 他	1	複数案件	—
6	(株)森村設計	医工情報領域融合による新産業創出拠点施設設計業務(設備)	1	随意契約	—
7	(株)宮建築設計	とくしま地域産学官共同研究拠点施設設計業務	1	随意契約	—
8	(株)新日本設備計画	広島大学無菌細胞培養室取設設計業務	1	随意契約	—
9	(有)三島建築設計事務所	医工情報領域融合による新産業創出拠点施設設計業務(建築)	1	随意契約	—
10	(株)東京ソイルリサーチ	鶴岡メタボロームクラスター産学官共同研究拠点施設増築工事に伴う地質調査業務	1	随意契約	—